

ずいそう

コロナ禍で得た新たな楽しみ

熊谷 一男



2019年12月に中国武漢で検出された新型コロナウイルスによる感染症は、その後、世界中に広がり2020年3月11日に世界保健機構(WHO)がパンデミックを表明しました。その後の2年間の日常生活は一変し、私の大好きなゴルフもメンバーコースが数ヶ月にわたり閉鎖や、年に数回ほど日本各地を巡る旅はおろか、海外へ旅する計画すらできない環境となり、今まで感じたことのないストレスを覚えました。さらには「感染への不安、楽しめない、眠れない…」など心理的影響が少なからずありました。

そんな憂鬱なコロナ禍、友人に「どう、一緒に釣りに行こう。道具は全部あるから手ぶらでおいで!」と、誘われたのですが、子供のころから釣りは苦手で、釣れるかどうか分からない時間を過ごすことが、どうも性に合わないので、丁重にお断りをしたのですが、ある日、友人が「夏はマグロ釣りが最高だぜ! 男の遊びだよ!」と、再度誘ってくれました。誘ってくれるのは本当に感謝なのですが、釣りド素人の私に、ましてやマグロなど釣れる訳がない。と、いうのは誰もが感じるころでしょう。とは言え、どうせ暇だから一度くらい誘いに乗ってみようと、初めてのマグロ釣りに出かけたのでした。

朝6時、積丹町美国へ向け自宅を出発。途中コンビニでおにぎりとお茶、さらにビールと酎ハイ、つまみとおやつを十二分に調達!(釣りに行くというより、

海水浴に行くような気分で買い物をしていました。)食料準備万端で積丹町美国漁港につくと、友人とその仲間たちは出航の準備も整っていました。船を見てびっくり!「すっげー立派な船! こりゃ、いいぞ!」(仲間3人で購入した新艇らしい)

私の気分も盛り上がってきました。

いざ、出船!

天気は快晴!波もなく船も新艇で超快適!最高の気分!さっそく缶ビールに手が伸びます。「旨〜い!」思わず大きな声が出てしまいます。(すでに私は釣りのことなどどうでもよくなっていました)釣れても釣れなくても、どんな釣果であろうと、この時点でテンション爆上がり、久しぶりに味わう高揚感です。

釣りというより、クルーズを楽しむ若大将(加山雄三)の気分で、真っ青な海と心地よい爽やかな海風。そして、ビールの旨さを満喫していました。

船を走らせること40分程、ナブラ(マグロに追われて小魚が逃げ惑い、海面がざわつきマグロが跳ね回っている状態)を探す。

「ナブラだ!出た!出た!出た!」ナブラに向かって船を加速。ナブラを近くで初めて見た私は、マグロの群れが飛び跳ねているその状況に唖然としてしまい、しばしその光景に見とれていました。ただただ「凄い!」の一言です。



写真-1 船

いざ、実釣り

友人から「早く投げろ、消えちゃうぞ」の言葉に「はっ」として、慌ててキャスト！指を離すのを忘れ、仕掛けは5m先にチャッポン。直ぐに巻き上げ再度、キャスト。いい感じのところに入った！と思った瞬間、手元がグググッ！いきなりヒット！ジィィー！ラインが出されていきます。やったぜ！ビギナーズヒット！ロッドをしならせリールを巻き上げる手に力が入ります。気持ちが動転して、ただただ巻き上げていたその時、急にロッドが軽くなりました。「えっ…」外れてしまいました。逃がした魚は大きいとは言いますが、今のは大きかったと言いたくなるのは良く分かります。

悔しいい～。

その後は、次のナブラを探し、私もビールを飲むのも忘れて真剣に海面を見渡していました。その後、小さなナブラがいくつか出ましたが、船が近づく頃には消えてしまう状態が2時間ほど続きました。簡単には釣れるはずもなく、半ば諦めかけていました。その時、友人が「2時の方向！」と叫び、見てみると遠くに大きな白波（ナブラ）が見えます。船は2時の方向に加速。今日一番の大きなナブラです。大チャンス到来です！狙いを定め投てき。1回目、食わない。

2回目、食わない。3回目、ヒット！しかし、直ぐバレてしまう。仲間の一人がヒット！私は4回目の投てき、ヒット！ロッドがしなりラインが「ジィィー」と勢いよく出ていく。

最初のヒットの時より勢いがある。それから約30分マグロと対峙し、私は腕もパンパンに張り息も上がりへろへろ状態ですが、さすがにマグロの抵抗が弱り、肉眼で確認できる位置まで上がってきました。水面ま



写真—2 ヒット



写真—3 私が釣り上げたマグロ



写真—4 友人が釣り上げたマグロ

で上がってきたマグロに友人がモリを突く、真っ赤な鮮血が広がりました。ここで一息。力尽きたマグロを船上に引き上げ、やったぜ！ガッツポーズ！

疲れましたが、達成感のある気持ちの良い疲労感です。マグロの重量は計りがないので分かりませんが、たぶん40kg！大きいです！最高です！

マグロなんか釣れる訳がない。一体どんな釣りになるのか全く予想もつきませんでした。一発でドハマリしました。マグロとの対峙は、体力も頭も使いますので、スポーツと言えばスポーツですが、私のマグロ対峙の経験としては、「真剣勝負のマグロゲーム！」です。兎に角、「楽しい！脳みそが喜ぶ！」の一言です。何事もやってみないと分からないものです。今年も大物目指して、真剣勝負のマグロゲームに挑みます！

釣り上げたマグロは、会社で解体し、社員みんなで美味しく頂きました。